



6月定例会

第171号

令和元年8月1日

# 議会だより

行政報告・補正予算……………	2～3
委員会構成（5月臨時会）……	4
町政のそこが聞きたい……………	5
一般質問……………	6～11
4年間の目標・抱負……………	12～13



## 野付半島丸ごとウォーニック

- 5 km・10 km・15 kmコースに分かれ  
野付ネイチャーセンターをめざす
- 今年は4回目です6月30日実施
- 主催 NPO法人標津スポーツクラブ「すぽっと」

発行／北海道標津町議会

編集／広報特別委員会

# 日本遺産申請、審査結果

令和元年6月第2回定例会  
(令和元年6月19日)

## 山崎教育長の教育行政報告

日本遺産については、標津町が事務局となり根室管内1市4町の行政や関係する民間団体と協議を重ねながら、本年1月15日付で文化庁宛に、昨年度に続いて2度目の申請書を提出したところである。

この申請について、5月20日に今年度の審査結果が発表されたが、残念ながら今回も日本遺産の認定には至らなかった。

根室管内が申請したストーリーは、4月に行われた最終のヒアリング審査まで残ったが、10名いる審査委員の多くから高い評価をいただいた一方で、一部の審査委員からストーリーの内容に対して疑義の申し立てがあり、このことが理由で落選したことが確認されている。

具体的には、今回申請したストーリーは、鮭と深い関わりを持ちながら、古代から現在に至るまで続いた、根室地域の人々の暮らしをテーマにまとめたものであったが、最終ヒアリングの中で一部の審査委員から「一般的な学説に照らし、古代には鮭を重視した暮らしは存在しなかった」という指摘を受けたところである。



標津遺跡群「伊茶仁カリカリウス遺跡」

しかし、当該ストーリーは、標津遺産群での長年の調査研究の成果に基づき、縄文時代から

一貫して、鮭と深い関わりを持つ歴史を歩んだという、地域の際立った特徴をベースにまとめたものであり、その審査委員の指摘は、当該地域には当てはまらないものと確信している。

結果として、地域の活性化のための制度である日本遺産の認定において、学術的な議論がストーリーの評価や認定の可否を決定することとなってしまったことは、誠に遺憾に思うところがある。

日本遺産については、2020年までに100件程度の認定を目標に審査が行われる予定であり、申請の機会はあると一回残されている。

再々挑戦するかどうかについては、現在根室管内の関係団体の意向を確認している。

7月以降に最終的な判断を行いたいと考えている。



タブ山チャシ跡

なお、今回申請した「鮭の聖地」の物語は、文化財によって証明される地域のDNAを伝えるストーリーである。

このことから、日本遺産に挑戦するしないに関わらずこのストーリーを活かした観光地域づくりの取組みは、本町の関係部局や関係団体のほか根室振興局、管内市町などと連携しながら、具体的に前に進めていく予定である。

## 意見書

○2019年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

提出者 **大垣 勇** 議員

○2020年度地方財政の充実・強化を求める意見書

提出者 **山崎 英司** 議員

○「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現に向けた意見書

提出者 **大垣 勇** 議員

○日露両国における友好交流の一層の推進と相互の信頼関係に基づく外交交渉の推進を求める意見書

提出者 **大垣 勇** 議員

## 一般会計補正予算(第1号)

(単位:千円)

項目	金額	内容
知財戦略と観光地域づくりによる「標津ブランド」構築事業	10,000	総務省の「過疎地域等自立活性化交付金」を活用した標津ブランドの形成、ロゴデザイン、推進のための組織化、観光事業への関わり等の構築に係る支援業務委託事業
障がい者福祉システム改修事業	1,045	障がい者自立支援給付審査支払等システム改修費 ①消費税改定・処遇改善への対応 385千円 ②就学前の障がい児の発達支援の無償化対応 660千円
標津町私有林等整備事業	5,037	本年度から交付される森林環境譲与税の活用として、私有林整備(間伐)に対し、補助する事業
漁船上架施設保全整備事業補助金	1,665	漁船上架施設のワイヤー交換に対する補助
「鮭」フォーラム開催経費	1,890	鮭の町として歩んできた標津町のこれまでの取組を再認識し、魅力発信につなげるためのフォーラム開催経費実行委員会組織による運営とし、助成金を計上(パネリスト謝金、旅費、パンフレット、展示物等経費)
根室北部消防組合負担金(臨時費分)	3,602	標津水槽車修繕費分の事務組合負担金の追加



石岡係長

## 人事異動

4月1日付の人事異動により、議会事務局員が石岡係長に変わりました。

## 条例改正他

「町税条例等の一部を改正」や「災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正」「標津町の基金条例の一部を改正」等の8件を原案どおりに可決しました。

## 閉会中の継続調査

3委員会から申し出があり承認しました。

### 《議会運営委員会》

- ① 本会議の会期日程等会議の運営に関して
- ② 議会活性化対策に関して

### 《総務経済常任委員会》

- ① 農林水産行政に関して
- ② 商工観光行政に関して
- ③ 地域振興に関して
- ④ 財政管財行政に関して
- ⑤ 行政組織の活性化等に関して

### 《文教福祉建設常任委員会》

- ① 福祉行政の施策に関して
  - ② 教育行政の施策に関して
  - ③ 建設行政の施策に関して
- 期限はそれぞれ次期定例会まで

# 第1回 臨時会 5月8日

5月8日に開催された第1回臨時会（改選後初議会）において、議長・副議長の選挙、常任委員会委員・議会運営委員会委員及び広報特別委員会委員の選任を行い、町長提案の監査委員の選任に同意しました。

また、根室北部衛生組合議会議員・根室北部消防事務組合議会議員・中標津町外2町葬斎組合議会議員・根室北部廃棄物処理広域連合議会議員の選出を行いました。

**議長 田中 孝幸**  
**副議長 小川 悠治**



議長 田中 孝幸



副議長 小川 悠治

## 委員会の所属

令和元年5月8日開会の令和元年第1回標津町議会臨時会において、別記の通りになりました。

## 総務経済常任委員会



南委員長



石橋副委員長

〈委員定数〉6名  
〈任期〉令和元年5月8日～令和3年4月30日  
〈委員会構成〉

委員長 南 憲治  
副委員長 石橋 昌幸  
委員 木下 孝 大垣 勇  
山崎 陸郎 「高橋 幹雄」

※「」の委員は複数所属

## 文教福祉建設常任委員会



吉田委員長



山崎副委員長

〈委員定数〉6名  
〈任期〉令和元年5月8日～令和3年4月30日  
〈委員会構成〉

委員長 吉田 智  
副委員長 山崎 英司  
委員 小川 悠治 高橋 幹雄  
// 「大垣 勇」 「山崎 陸郎」

※「」の委員は複数所属

## 議会運営委員会



大垣委員長



石橋副委員長

〈委員定数〉5名  
〈任期〉令和元年5月8日～令和3年4月30日  
〈委員会構成〉

委員長 大垣 勇  
副委員長 石橋 昌幸  
委員 小川 悠治 南 憲治  
吉田 智

## 広報特別委員会



大垣委員長



吉田副委員長

〈委員定数〉4名  
〈任期〉令和元年5月8日～令和5年4月30日  
〈委員会構成〉

委員長 大垣 勇  
副委員長 吉田 智  
委員 山崎 英司 山崎 陸郎

## 議会選出監査委員

〈任期〉  
令和元年5月8日～  
令和5年4月30日  
石橋 昌幸

## 各組合議会及び 広域連合議会

### 議員の選任

- 根室北部衛生組合議会議員  
田中孝幸・小川悠治
- 根室北部消防事務組合議会議員  
吉田 智・山崎英司
- 根室北部廃棄物処理広域連合議会議員  
田中孝幸・小川悠治
- 中標津町外2町葬斎組合議会議員  
南 憲治・石橋昌幸
- 根室北部衛生組合議会議員  
田中孝幸・小川悠治
- 根室北部廃棄物処理広域連合議会議員  
吉田 智・山崎英司
- 根室北部廃棄物処理広域連合議会議員  
田中孝幸・小川悠治
- 根室北部廃棄物処理広域連合議会議員  
吉田 智・山崎英司

一般質問とは、定例会において、各議員が住民を代表して、行政全般にわたり町執行機関の政策・方針を質す事です。あるいは報告、説明を求め又は疑問を質すことをいう。

## 一般質問

# 町政のそこが聞きたい

令和元年第2回定例会(6月19日～20日)で6議員が一般質問をしました。各議員の質問項目とその内容を要約して掲載します。

## 小川 悠治 議員 ————— 6ページ

～町長の英断に係る～

- 『障がい者福祉施設』の開設  
見解を質す!



## 高橋 幹雄 議員 ————— 7ページ

- 子育て世代の国保税の負担軽減を!



## 木下 孝 議員 ————— 8ページ

- 町長の所見と併せ3点を質す
  - ① 地熱発電〔妹羅山〕の現況と展望
  - ② サーモンハウスの現況並びに展望
  - ③ 外国人労働者の現況



## 石橋 昌幸 議員 ————— 9ページ

- こども園の入園制限の解消を!



## 吉田 智 議員 ————— 10ページ

- AI時代到来!  
町職員に **2枚目の名刺** を!!



## 山崎 陸郎 議員 ————— 11ページ

- 政策パッケージ **標津川の環境保全等**  
標津川の水深確保を!



〈町長の英断に係る〉

『障がい者福祉施設』の開設  
見解を質す！

『障がい者グループホーム』  
令和3年4月開設目指す



小川 悠治 議員

**問** 近年、当町の福祉関係は大きく進み高齢者及び子ども福祉では、道内上位に位置付けられている。

しかしながら障がい者福祉は大きく遅れている。町は昨年3月、国の『一人ひとりの生き方が、かけがえのないものとして尊重され、ともに暮らしすまじづく』を基本理念とした

「福祉施設」の開設は、町長の英断に係っており、責務である。町長の見解を質す。

**答** 町民から障がい者グループホーム開設の要望を受け、平成28年9月に検討を始めた。今年2月に実施した入所希望アンケートの結果、採算ラインの6人を上回る9人が入所を希望している。そこで5月に、標津町内で高齢者施設を運営する北見市の民間業者(株)エムリンクホールディングスに、グループホームの開設・運営を依頼し、内諾を得た。

建設予定地は旧双葉保育園跡の町有地である。今年7月に、町内の就業所「キラリ工房」が建設予定地に隣

接する旧母子通園センター「くれよんハウス」の建物に移転する予定であり、就労環境も整う事となる。

新設するグループホームは、木造平屋で10室の予定。

開設にあたり、建設事業費約9千万円の内、約3千万円を財政支援する方針である。



旧「双葉保育園」・旧「くれよんハウス」周辺の俯瞰写真(7月5日撮影・KUNIOFFICE)

今年度  
解体予定

7月1日より  
「キラリ工房」が移転開設

**問** 高齢者福祉施設に關しては、認知症型グループホームから高齢者アパート入所者まで、入所費助成措置が講じられ入所者支援のみならず、入所充足率向上から施設経営の安定にもつながり、結果として福祉ニーズにこたえられている。

障がい者施設入所者に対しても、同様の入所費助成措置を望む。見解を質す。

**答** 高齢者3施設の入所費助成措置は、家族から感謝されている。障がい者施設についても調査しながら支援を前向きに検討する。

町長の英断に対し、深甚なる謝意を表す。この結果により弱者二者(子ども・高齢者・障がい者)の福祉サービスの充実が図られる。

【小川議員】

# 子育て世代の 国保税の負担軽減を！

**① 税率負担の上昇を緩やかに**  
**② 政策パッケージの中で支援を**

**問** ① 最近10年間、国保加入者世帯が2割減少、税は逆に2割増加している。

国保税の統一化による影響で、8割の自治体で平均4800円アップと言われているが、標津町の今後の見通し、保険税アップを抑制する考え、対策を質す。

② 全国知事会等では「公費1兆円の投入で、協会健保並みの負担率を」と主張している。国保には他の保険にな



高橋 幹雄 議員

い「均等割」と「平等割」がある。特に0才児分にも掛かる「均等割」によって高齢者を支援している形は不合理である。

旭川市が「均等割」を軽減する支援を始めている。町の政策として子どもの「均等割」部分について軽減免除できないか問う。

**答** ① 保険税率の状況については、現在管内の中で標津町は2番目に低い。これは町独自において国保税の特別会計に必要な財源を確保するために税率を設定している結果である。今後は北海道の中で標津町の加入者の所得の位置がどうなっていくか、又、北海道全体で

医療費を賄うことが本格化し、北海道へ納めるのに必要な財源を確保するための国保税に変わっていく。

このことから、北海道平均と比べると標津町の税率は今後上がる見込みであり、負担の上昇を緩やかにするよう対応を検討していく。

② 本町においては、「人口減少時代に挑戦する政策パッケージ」の中でも、子育て支援について重点的に政策を推進しているところであり、今後も、本町の子育て支援策に必要な見直しを行いながら、継続していくことで子育て世代を力強く支援していくので、国保税における町独自の支援策については、都道府県化が進んでいく中で、このルールの中で適正に国民健康保険の運営に対応していくことを基本に考えている。

医療費を賄うことが本格化し、北海道へ納めるのに必要な財源を確保するための国保税に変わっていく。

## 均等割・平等割を廃止した場合の市町村国保税(※協会けんぽとの比較)

□ケース1 給与収入400万円・4人家族(30歳代、子2人)

札幌市	413,500円	廃止後	280,700円	協会	205,000円
標津町	393,200円	廃止後	209,600円	協会	205,000円

□ケース2 給与収入240万円・単身者(20歳代)

札幌市	205,600円	廃止後	140,900円	協会	123,000円
標津町	185,000円	廃止後	105,200円	協会	123,000円

□ケース3 年金収入280万円(夫230万円、妻50万円)・高齢者世帯

札幌市	162,600円	廃止後	92,700円
標津町	213,400円	廃止後	99,000円

□ケース4 所得300万円・自営業(30歳代夫婦、子1人)

札幌市	431,800円	廃止後	321,700円
標津町	389,100円	廃止後	240,100円

高校生以下の国保加入者307人、均等割34,600円

※協会けんぽ(全国健康保険協会管掌健康保険)健康保険組合のない中小企業などの従業員を被保険者とする医療保険。2008年に社会保険庁が運営する政府管掌健康保険から全国健康保険協会が運営する仕組みに変わった。協会は非公務員型の公法人で、各都道府県に支部を設け、支部ごとの財政運営を基本とする。

**町長の所見と併せ3点を質す**

- ① 地熱発電(妹羅山)の現況と展望
- ② サーモンハウスの現況と展望
- ③ 外国人労働者の現況



木下 孝 議員

**問** ① 3社共同による妹羅山の地熱発電の事業化に向けた調査が昨年2月に終了報告を受けた。その後、民間業者が参入を希望しているとの報告を受けたが、

現況と展望を質す。

**答** 現在、8社が武佐岳での調査意向を示している。

その内、一次審査(書類審査)により3社程度に絞り込み説明会後、最終審査(企画提案書審査)により、今年度中に事業者を選定する予定である。

又、JOGMEC(石油天然ガス金属鉱



2号井仮噴気試験(妹羅山)  
(平成27年実施)



営業再開が待たれる『サーモンハウス』

物資源機構)が行っている電磁探索による平地調査により、武佐岳麓の平地に有効な熱源があるとの報告を受けている。双方の進展に大いに期待する。

**問** ② サーモンパークの中心施設である「サーモンハウス」が営業を休止し、閉館状況が続いている。経過の報告は受けているが、「観光交流人口」集客の拠点施設であり、極めて遺憾である。現況の報告と今後の展望を質す。

**答** 5月の10連休に町内有志6団体がサーモンハウスに出店した。10日間に約7300人が来客し、228万円の売り上げを上げた。サーモンハウスの新たな活用方法であり、新たな活動の場、地域発信の場となる可能性がある。出店6団体等にヒアリングをし、今後の展開を検討し、スピード感をもって営業再開を目指す。

**問** ③ 外国人労働者の現況を質すと共に地域住民との交流を促す

**答** **副町長** 当町の外国人技能研修生の現況(6月3日現在)は、表の通りであり、3職種に70名が就労している。

御指摘の外国人技能研修生と地域住民との交流の場づくりは、今後の円滑なる就労の為に積極的に推進して行く。



4人のベトナム人技能研修生の寄宿する『上田組社員研修寮』  
(釧路開発建設部旧『武佐川標津改修事業所』)

**表** 標津町の外国人技能研修生の状況

(令和元年6月3日現在)

職種	人数	国籍	人数	性別	人数
酪農業	23名	ベトナム	49名	男性	26名
漁業	39名	フィリピン	21名	女性	44名
建設業	8名				

(合計70名)

# こども園の 入園制限の解消を！

## 安全上、入園希望者が 増えると制限も



石橋 昌幸 議員

**問** 標津町は、結婚・子宝・子育ての政策などは国に先駆けすでに実施しており、政策パッケージの子育て関連事業は、より良い定住地実現を目指しており、高く評価している。しかし次の課題がある。

①クラスによって定員を超える利用があり、適切な保育環境の維持が困難として一部受け入れ制限している。この解消が必要である。

②保育士の確保が大事

である。

③他町の住民でも当町と関わりのある幼児を標津町のこども園で受け入れることができないか？

以上の3点を質す。

**答** **教育長** ①標津こども園は1〜2歳児、川北こども園は2〜5歳児が定員を上回っている。原因は、出生率の改善・移住者増・負担減により入園率の増加が考えられる。

② 昨年は8月以降入園を制限したが、今年度は、職員数の確保や保育スペースの工夫によって制限しないで対応してきた。しかし、これ以上の入園は

安全基準、安全な環境の確保から、今月以降3歳児未満児について、一時的に一部のクラスで入園要望に添えないこともあると考える。「政策パッケージ」を支えるためにもすべての要望にこたえたいと思うが、安全を最優先に考えていきたい。

② 安全な保育環境を維持するために保育教員の確保が必要。当町では昨年から就職準備制度（奨学金援助）を設けた。また道内各地の



川北こども園「にじいろ」



標津こども園「あおぞら」

短期大学や専門学校を延べ20回以上の訪問などを実施し、今年度当初に5名を確保することができた。

③ 町外からの受け入れについては、児童福祉法により、入園希望者はまず、住民登録をしている市町村に申請することになっている。広域入所（例外的に認められている）の場合でも住民登録市町村に申請し、施設を保有している市町村との自治体間で協議することに

なる。（受入市町村の定員に余裕があることが条件）

保育に係る費用は、それぞれの自治体に市町村交付税が国から交付されているため、国の基準で算定された額を住民登録市町村から受入市町村に委託料として支払うことになる。かなり高額となり、金額により協議が整わないこともある。保育料は標津町の保育料金制度ではなく住民登録をしている自治体の保育料となる。10月に国の制度が変わるが、広域入所の取り扱いが変わらない。政策パッケージは、本町への移住、定住を促すため提供されており、町外からの通勤者などは、本町に移り住んで子育てだけではなく「くらし」に関わる支援のサービスを受けてほしい。

**2枚目の名刺** 職場の外で自らの意思により、社会的活動に取り組む事全般を「2枚目の名刺を持つ」と表現 出典【NPO法人2枚目の名刺】

**参考資料1**

図1 自治体におけるAI導入の業務例

機能別 (主なもの)	分野別 (主なもの)
<b>音声認識</b> ■ 会議録作成支援システム ■ 口型翻訳システム ※2 <b>チャットボットによる応答</b> ■ チャットボットによる行政サービスの案内 ■ 多言語AIチャットボットサービス ■ LINEを活用した対話型サービス ■ 子育て相談のためのAIを活用したチャット窓口の開設 ■ 観光・文化・都市経営情報の総合案内コンシェルジュ ■ AIを活用した移住・定住に関する自動対話型のFAQ機能など <b>画像認識</b> ■ チャットボットによる行政サービスの案内 ■ 多言語AIチャットボットサービス <b>マッチング</b> ■ 保育所の入所選考業務、保育園の入園AIマッチング	<b>健康・医療</b> ■ 健康情報関連業務 ■ 文字認識による予防接種予診票のデータ化 ■ 国民健康保険レセプト点検業務 <b>児童福祉・子育て</b> ■ 保育所の入所選考業務、保育園の入園AIマッチング <b>高齢者福祉・介護</b> ■ 遠隔障害者との会話に利用する音声文字検索表示 <b>土地利用・都市計画</b> ■ 画像認識による歩行者通行量調査 <b>観光</b> ■ 観光案内多言語AIコンシェルジュの導入 <b>横断的なもの</b> ■ 会議録作成支援システム

出典 総務省HP (http://www.soumu.go.jp/main\_content/000594217.pdf) 6頁。

※2チャットボット[Chatbot]:チャット(オンラインでの会話)とロボットを一体化させた言葉で、「会話する人工知能(AI)プログラム」を表す。

**参考資料2**

図2 業務外の活動の内容



出典 NPO法人2枚目の名刺 Common Room64報告資料



吉田 智 議員

現在、「第3次AIブーム」と言う事で、AI議論が喧しい。新聞や雑誌を開くとAI関連の記事が溢れ、テ

※1 AI時代到来!  
町職員に2枚目の名刺を!!

※1 AI「Artificial Intelligence:人工知能」コンピューターを用いて人間の脳が持つ知能を実現させようと言うもの。1956年に、米国のコンピューター科学者のジョン・マッカーシーが命名

レビを付けるとAIを搭載した商品のCMが頻繁に流れている。2015年12月、野村総研は、「将来的には日本の労働人口の49%がAIやロボットで代替可能になる」と言うレポートを発表した。このレポートを参考に、週刊「ダイヤモンド

」編集部は、独「本」に消える職種ランキング100」を掲載。この記事の「ホワイトカラー機械化代替ランキング」において、行政事務員(県市町村)は、機械化代替率99・41%とされている。現在、自治体にお

るAI導入の業務例は、その様な中、これらの時代を生き残る自治体職員は、地域ニーズに合致した政策を考えられる創造的な職員や、住民と深いレベルでの関係性を構築できるコミュニケーション能力の高い職員である。

その為に、町職員は、自らも地域の一員である事を認識し、積極的に社会的活動に取り組む、業務外の「2枚目の名刺」を有すべき。

(参考資料2) 参照)

地域住民との信頼関係づくりが、行政業務に反映されるであろう。町長の所見を質す。

**答** 読み・書き・算盤の能力が行政職員の評価であった時代に、ワープロ、更にはパソコンが導入され、行政業務の革命的革新が起きた。AI等の技術を使いこなすスマート自治体時代を迎える職員には、①コミュニケーション能力②理解力③判断力④洞察力が求められる。

職員の意識改革を進め、積極的に地域社会に出て、住民に寄り添う現場主義を推進する。

# 政策パッケージ「標津川の環境保全等」

## 標津川の水深確保を！

### 標津川河道内に バールブエの増設を要望中

**問** 人口減少時代に挑戦する政策パッケージの「標津川の環境保全」にある、水深確保の要請について伺いたい。

標津川のサーモン橋から上流を見ると大きな中洲（土砂の推積）が見える。  
下流を見ると、捕獲施設と蓄養槽の設置する場所も非常に浅い。

写真②

施設を設置するには、例年以上に土砂の掘削



山崎 陸郎 議員

が必要と思われる。

捕獲施設・蓄養施設  
の左岸には昨年掘削した土砂が積んであり、今年の土砂が上乘せされる事になる。

写真④

サーモン橋の上流部捕獲施設の下、更には河口までの間などは河口まで間など、大量に上がると思われる土砂の処理方法、利用方法、水深確保について質す。

**答** 標津川河道内に

※バールブエを設置している。この工法は、流速を変化させ、河床が洗掘される事で水深が確保され、サケ稚魚の降河時や親魚の遡上にとって良い環境になるものと期待するもので

ある。

今後も増設する事を要望している。

捕獲場施設  
付近の掘削した土砂は、粒子が細かく、比重が軽いため、土木資材に適さない事から、処理等についても検討している。



写真③ 標津川左岸の土砂（捕獲施設）



写真① サーモン橋上流



写真④ 標津川左岸の土砂（蓄養施設）



写真② 標津川蓄養施設設置場所

### ※バールブエ(法)

バール (barb) とは、「(矢じり・釣り針の) あご、かかり、戻り、さかとげ」を意味する英単語であり、「バールブエ」は、川の流れに対して、河岸から上流側に向けて（さかとげのように）突き出して設置する、高さの低い水制の一種で、流れによって運ばれてくる砂を溜めて寄り洲を形成することを目的とした河川工法である。

# としての目標及び抱負を、全議員が記述回答～



田中 孝幸 議員  
(9期目)

## 町づくりは 皆さんが主役です

現在、人口減少の克服と地方創生が喫緊の課題となっており、かつてない危機感のもとで地方の再生運動が展開されておりあります。

今、何をなすべきかにより、その町の未来が左右されるため、今こそ町民力・地域力・行政力そして議員個々の力を結集し、一体となった町づくりを進めていくことが大事なことであると考えおりますので、町民の皆さんの一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。私の目標・抱負といたします。



小川 悠治 議員  
(5期目)

## 有言実行 お約束したことを 行動で示します

- 産業と資源を守る
- 環境を守り、漁業と酪農共に生きる
- 歴史資源の活用を
- 医療が町を支える
- 暮らしの利便と安心感を
- 病院が全ての福祉施策の要
- 福祉の充実を
- 高齢者在宅福祉と施設福祉の充実
- 障がい者福祉の推進
- 都市部に対抗できる教育環境の充実を



高橋 幹雄 議員  
(8期目)

## 優しいまち 標津町を目指して

子どもやお年寄りに優しいまちはみんなにとっても優しいまち 子ども一人ひとりが、地域にとって宝のように大切にされ、その瞳が輝く優しい町しべつ。高齢者や障がい者が、この町に住んでいて良かったと思える優しい町しべつ。そんな町は、町民みんなにとっても優しい町です。そういう町づくりを目指したい。



木下 孝 議員  
(5期目)

## 「議会並びに行政」が 「町民一人ひとり」と共に 「協働する町政」の実現

私は議会活動「5期目」のスタート（出発）にあたり、引き続き「町民」との「対話」を基本とし全力で実現に邁進します。

- 議会活動の基本姿勢
- 基幹産業（水産・酪農・商工業）の発展・振興
- 人口減少対策の強力な推進
- 定住人口の安定化に資する「住んで良かった」町の実現
- 移住人口の増加対策
- 観光交流人口増加に向けた「魅力あるトータル環境」の整備
- 行財政改革の推進
- 「北方領土早期返還」の実現に全力を注ぐ



大垣 勇 議員  
(4期目)

## 住んで良かったと 思える町づくりを 目指す

「海・山・川・大平原」を有している当町の利点を活かした町創りが求められ、そのために

- 農業、水産業等の基幹産業の発展はもちろん、商業の振興はきわめて大切です。
  - 標津病院を中心とした医療・福祉の充実
  - 幼児から高校生まで教育環境の整備
- これらの政策を推進し、町民だれもが『標津町に住んで良かった』と感じることができ町を目指し私も努力します。

# 4年間の目標・抱負 ～今後4年間の議会人



石橋 昌幸 議員  
(4期目)

**町づくりの責任と緊張感で**

私は、今後4年間引き続き町民各位が安心して暮らせる町を目指します。又高齢者が楽しみの多い町づくりを指します。四期目にむけての五つの約束と実行対策として、

- 一、地域にあった商業のあり方を目指します。
- 一、家族が安心して子どもを育てられる町づくりを目指します。
- 一、災害に負けない強い町づくりを目指します。
- 一、地元で学べる場を維持できるよう目指します。
- 一、基幹産業の基盤整備と地域振興を目指します。



南 憲治 議員  
(3期目)

**町・町議会・町民が力を合わせた強いまちづくりを推進します！**

- 一次産業がマチの屋台骨。経営基盤の強化を進めて元気なマチづくりを！
- 人材を育てモノづくり、コトづくりを！
- 高齢者が安心して健やかに暮らせるマチづくりを！
- 今こそ共助の時代。町内会のコミュニケーション活動を柱とした助け合いのマチづくりを！
- 産業青年、商工業青年など「マチの未来をつくる若者」の活動に対する物心両面の支援を！

議員としての重責を肝に銘じ、全力で臨みます。



吉田 智 議員  
(3期目)

**住んで良かった！暮らして良かった！故郷★標津の構築を！**

一般質問の質の向上を図り、監査機能及び政策提案機能の充実に努め、「誰もが、住んで良かった！暮らして良かった！と思える」小さくてもキラリと光るまち「故郷標津」の構築の為に、不惜身命邁進する所存です。



背景 細見 浩氏(木版画)「春 根室原野」



山崎 英司 議員  
(2期目)

**標津をおもっみんなのために！**

私は、2期目も夢と希望のあるまちづくりを目指して努力します。

- 一、町民が安心して暮らしていける生活・経済環境をつくりまします。
- 二、ゆとりある保育・教育を推進します。
- 三、高齢者・障がい者の方々が心豊かに暮らせる福祉の施策の推進をします。

以上の事を町民の皆様御意見を伺いながら、実行に向け推し進めて参りたいと思えます。



山崎 陸郎 議員  
(2期目)

**自然環境を守り心の通いあうまちづくりを！**

- 漁業と酪農業は自然環境の変化に大きな影響を受け易い、山・大平原・海をつなぐ川を守り、産業経済振興に努めます。
- サーモンパーク・ポー川史跡自然公園の集客力を高め、交流人口の拡充を図りたい。
- 生活弱者の高齢者や障がい者に対する、心のかよった、あたたかい対策を。
- 災害は予知する事がむずかしいが、準備の出来る事を一つ一つ積み重ね、住み良いまちづくりを！！

## 寄稿



### 「種なしブドウ」

上田組葡萄園 井南 進

山梨県笛吹市からピオーネ他の四種類の葡萄苗が届いたのが平成29年3月、標津町はまだ雪の中で路地に植えることも出来ず、とりあえずは自宅のハウスに仮植して雪解けを待つこととなりました。同年5月に約300平方メートルのハウスが二棟完成し、いよいよ定植です。

これまで育てている六本程の我が家の葡萄はかなりいい加減な管理で育てているため、見た目にはなかなか立派な葡萄ではあるが、商品として外部に出せるような房が出来るわけでもなく、当然ナイアガラやデラウエアでもしっかりとした堅い種入りの葡萄で、友人や

近所の人に差し上げるだけの品物しか収穫したことがないことから、この度の葡萄栽培に当たっては、植え方から収穫まで全ての行程を山梨県の環境に近い状況で育てることが必要であると思われました。

少し芽が出てきた背丈が60cm程の苗を、深さが30cmの穴を掘り、そこに堆肥を入れて大事に定植してから早くも3年目を迎えました。葡萄というのは良く伸びるもので、1年で3m程も伸びます。剪定時に先端を切り詰めるため現在は6m程の木ではありませんが、しっかりと枝を張り、今年には数個の花が付いて6月末にはその花が満開の

状態になってきました。花の咲く頃には葡萄の房の長さは10cm程になりますが、商品とするには先端部から4cm程だけを使うため、他の部分は切り取って捨ててしまいますが、これがまた育てている身としてはとってももったいなく、切り取るのにため息をつきながらの作業です。

そこでジベレリン処理の工程となるのですが、この処理を行わないと葡萄はしっかりとした種を付け、いわゆる種有り葡萄となる訳です。山梨県の関係者に色々と指導を受け、また、YouTubeを何度も見てそれなりに経験者のような気持ちになりながら、植物性

のホルモン剤に満開の状態になった葡萄を浸すのですが、これがまた大変。成長にはそれぞれの花に時間差があり、満開の花があれば7部咲きの状態もあることから、一度に全ての花を処理することが出来ないのです。

毎朝花の状況を確認し、適期を外さないように注意しながらの作業が続く、それが終わると2週間後に第2回の処理を行います。これによって完全に無核化となり、種無し葡萄となる訳です。

この頃になると粒も少しは大きくなり、美味しい葡萄になることが期待されます。

今年3年生となった葡萄達も、この先冬の寒さに絶えられるのか、また強風によりハウスが変形しないか等々の心配をしながら、これからの成長を楽しみにしています。

## 編集室



平成最後の改選により前期と同一の顔触れとなった標津町議会。

「令(こころわ)しく平和に生きる」と謂う『令和』の時代も当委員会は同じ編集スタッフにより、携(たづな)わる事になりました。

今後共、町民の皆様

に読んでいただける紙面作りを心掛けて参ります。

何卒、御支援の程、宜しくお願い申し上げます。

(吉田 智)



(4年間宜しくお願い致します)

英司 陸郎 山崎 山崎 委員 委員 大垣 勇智 長 吉田 委員 委員 長 田中 孝幸 議長

広報特別委員会